

領域横断演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-304
選択 2単位

山崎 直也

1. 授業の概要(ねらい)

春学期の領域横断演習Ⅰで様々な角度から検討した「ヒト・モノ・情報の移動」というテーマについて、各自の関心に基づいて独自のリサーチを展開し、理解を深める。担当教員が台湾を事例にいくつかのトピックを論じ、それを踏まえて各履修者がリサーチした内容を口頭で発表し、レポートを執筆する。

2. 授業の到達目標

- ・「ヒト・モノ・情報の移動」という共通テーマと専門の言語・地域に関連づけ、妥当なリサーチトピックを設定することができる。
- ・図書館の各種データベースを有効に活用し、リサーチに必要な資料を収集することができる。
- ・資料を読み込んで情報を整理し、独自の見解を口頭および文章で表現することができる。

3. 成績評価の方法および基準

第1回発表 20%

第2回発表 30%

レポート 50%

※レポートの提出は2019年12月31日締切(メール必着)とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

教員が適宜プリントを配布する。

参考文献

赤松美和子・若松大祐編 『台湾を知るための60章』 明石書店

5. 準備学修の内容

MELIC、公共図書館を積極的に利用して研究のための資料を収集する。

6. その他履修上の注意事項

自分の研究発表を洗練し、「よき話し手」となることは重要だが、「よき聞き手」となることも同じように重要である。他の言語、他の地域を専門とする学生と、一つのテーマを考究する中で視野を広げ、将来につながる能力を培って欲しい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | ケーススタディ:台湾という視座(1) 概論 |
| 【第3回】 | ケーススタディ:台湾という視座(2) 日本統治の遺産 |
| 【第4回】 | ケーススタディ:台湾という視座(3) 本省人と外省人 |
| 【第5回】 | ケーススタディ:台湾という視座(4) 新移民 |
| 【第6回】 | 第1回発表(第1組) |
| 【第7回】 | 第1回発表(第2組) |
| 【第8回】 | 第1回発表(第3組) |
| 【第9回】 | 第1回発表(第4組) |
| 【第10回】 | 第1回発表の総括 |
| 【第11回】 | 第2回発表(第1組) |
| 【第12回】 | 第2回発表(第2組) |
| 【第13回】 | 第2回発表(第3組) |
| 【第14回】 | 第2回発表(第4組) |
| 【第15回】 | まとめと期末レポートの講評 |